

令和5年度授業事例：高校英語科 英語コミュニケーションⅠ

授業者：細川 めぐみ・熱海 千乃

授業の狙い・単元のゴールなど

単元：Heartening English Communication I Lesson 3
(10時間＝教科書読解5時間、準備4時間、ポスター作成1時間、課題：プレゼン評価1時間)
・地球上で起こっている異常気象とその問題点について理解し、その対策のために一人一人で何ができるかを考える。
・本時：3～4人1組のグループで世界の災害について調べ、英語でパワーポイントと発表動画を作成する。
役割分担：①その国の一般的な概要、②災害前の普段の生活、③災害の状況、④災害後の復興と私たちができること

評価の方法・評価のポイントなど

- ① グループ・プレゼンテーション
 - ・マター：発表内容
情報量、構成、わかりやすさなど
 - ・マナー：発表態度
アイコンタクト、声量、スピーチ時間など
 - ★英語で他国の情報を説明することができる。
 - ★原稿を見ずに堂々と英語で発表することができる。
 - ★友達と協力して取り組むことができる。
- ②ポスター作成
 - ★説明内容：分かりやすさ
 - ★グループ内の協力
 - ★完成度：レイアウト・デザイン

授業の流れ・ワークシートなど

授業の流れ

- ①～⑤ 教科書の内容理解
- ⑥ グループニング、役割分担、国の選択
- ⑦～⑧ パワーポイントの作成(teams利用)
- ⑨ 発表準備と録画→teamsにアップする
- ⑩ ポスター作成
→提出後PDF化しBookletとして配信。文化祭でポスター掲示
夏季課題：teamsに投稿されたプレゼン動画を5本見て、評価と感想を提出する。

表彰



↑ALTがプレゼンとポスターを審査し表彰



授業の様子



←タブレットを使って、パワーポイントのファイルを班員と共有しながら作成。



↑プロジェクターを使っての発表練習

授業の様子を振り返って・生徒の感想

★世界で起こっている災害について学ぶきっかけになった。気候変動や自然災害が引き起こす、世界での被害や現在の状況について知るという機会が今まではあまりなかったため、事例について詳しく調べる機会になったのが良かった。

★スピーチでは、班内で構成を修正しあったり、実際の練習を見てアドバイスしあい良いプレゼンを目指した。また、パワーポイントの画面を見ずにカメラを見て話すことを心がけ、班の発表をみんなで高めていった。ポスター作成は、伝えたい内容が多かったので、鍵となるポイントをみつけて要点を絞り、的確にまとめられた。

★他の班の発表を見ることで、世界の災害についてさらに学べるだけでなく、自分達の発表に生かしたい表現の仕方やポスター作成の方法を学ぶことができた。



↑プレゼンテーション動画の様子